

ソニーイーエムシーエス(株)一宮テックの 化学物質管理とリスクコミュニケーション



BRAVIA

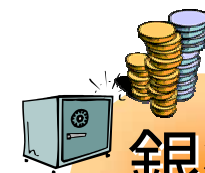
Best Resolution Audio Visual Integrated Architecture

ソニーイーエムシーエス(株)一宮テック
環境事務局

ソニーグループの概要



ソニー株式会社
 (Sony Corporation)
 設立: 1946年(昭和21年)5月7日
 本社所在地: 東京都品川区北品川6-7-35
 代表執行役: 会長 兼 CEO ハワード・ストリンガー
 社長 兼 エレクトロニクスCEO 中鉢 良治
 副社長、テレビ事業本部長 井原 勝美
 連結従業員: 151,400人(平成17年3月31日現在)
 2004年度: 7兆1,596億円
 連結売上高



銀行

・ソニー銀行(株)



保険

・ソニー生命保険(株)
 ・ソニー損害保険(株)
 ・(株)ソニーファイナンスインターナショナル



映画

・(株)ソニー・ピクチャーズ・エンタテインメント
 ・ソニー・ピクチャーズ・エンタテインメント・インク



音楽

・(株)ソニー・ミュージックエンタテインメント
 ・ソニー・ミュージックエンタテインメント・インク
 ・デジタル・オーディオ・ディスク・コーポレーション



ゲーム

・(株)ソニー・コンピュータエンタテインメント
 ・ソニー・コンピュータエンタテインメント・アメリカ・インク
 ・ソニー・コンピュータエンタテインメント・ヨーロッパ・リミテッド



エレクトロニクス

・ソニー(株)	・ソニー・エレクトロニクス・インク
・ ソニー・イーエムシーエス(株)	・ソニー・エレクトロニクス・(マレーシア)・センディリアン・ヘルハッド
・ソニー・エナジー・デバイス(株)	・ソニー・エレクトロニクス・(シンガポール)・プライベート・リミテッド
・ソニー・エンジニアリング(株)	・ソニー・デバイス・テクノロジー・(タイランド)・カンパニー・リミテッド
・ソニー・ケミカル(株)	・ソニー・テクノロジー・マレーシア・センディリアン・ヘルハッド
・ソニー・サプライチェーンソリューション(株)	・ソニー・マーケティング・アジア・パシフィック・プライベート・リミテッド
・ソニー・セミコンダクタ九州(株)	・ソニー・ドイチュラント・ゲー・エム・ペー・ハー
・ソニー・マニュファクチャリング・システムズ(株)	・ソニー・フランス・エス・エー
・ソニー・マーケティング(株)	・ソニー・ユナイテッド・キングダム・リミテッド
・ソニー・宮城(株)	・ソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ



その他

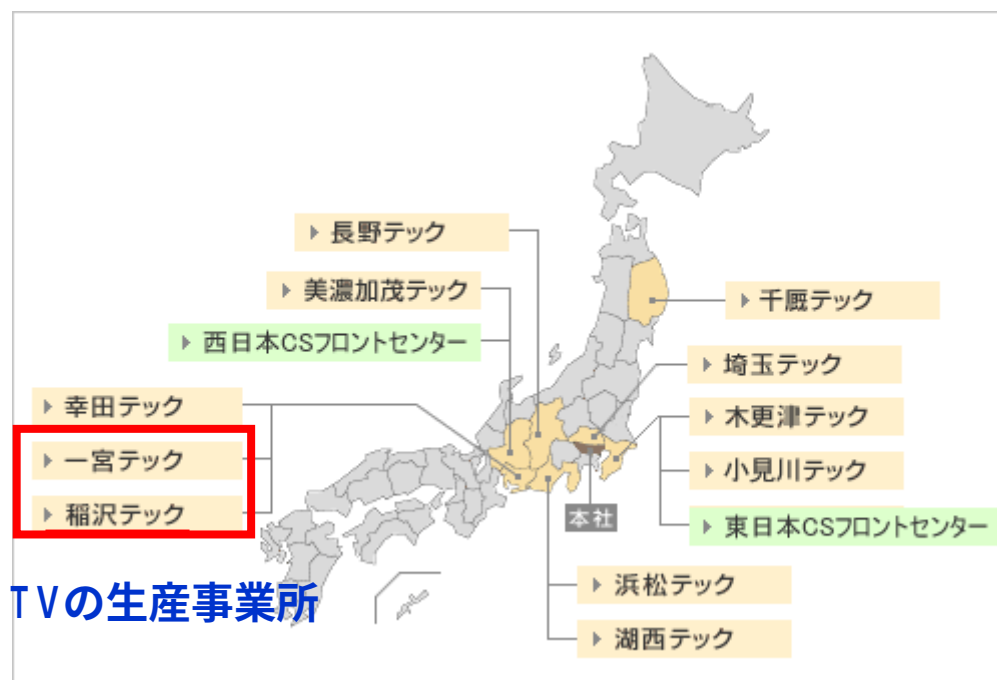
・ソニー(株)
 ・ソニーコミュニケーションネットワーク(株)
 ・(株)フロンテッジ

ソニーイーエムシーエス(株) 概要

イーエムシーエスとは、**Engineering** (開発や設計などの技術)、**Manufacturing** (製造)、**Customer Services** (お客様の要望に応えるための各種サービス) の頭文字 (**E・M・CS**) を表しており、設計からカスタマーサービスまでの一貫体制を実現したまったく新しいビジネスモデルです。さらに、物流機能とも連携した高速サプライチェーンマネジメント (SCM) を構築し、引き続き生産革新に取り組むなど、常にチャレンジを続けています。

エレクトロニクス関連機器の生産を担う 国内製造事業所を統合

(2001.4.1～)



- 所在地：東京都品川区東五反田2-17-1
- 売上高：約2兆3千億円 (2004年度実績)
- 従業員数：約11,000人 (2005年4月現在)
- 土地：約1,270,000㎡
- 建物：約600,000㎡
- 資本金：67億4,100万円 (100%ソニー株出資)
- 事業内容：開発、商品設計、資材調達、生産、物流、顧客サービス、修理など一連の設計・生産・フォローを統合的に運営

一宮・稲沢テックの概要



S-LCD
Corporation



35年前、ソニー株式会社の第1,2工場として
トリニトロンCRT、TVアセンブリー量産を開始。以来、
ソニーの高品質TVの製造技術を支え続けています。

SONY Panel

HQ



INZ TEC

INY TEC



ソニーセミコンダクタ九州株式会社
熊本テクノロジーセンター



○ 設立 : 1969年12月1日

○ 敷地面積: 111,310m²

○ 建物面積: 71,770m²

○ 社員数 : 計 約1,800人

(直雇用約200人、非直雇用約1,600人)

○ 設立 : 1970年5月7日

○ 敷地面積: 102,766m²

○ 建物面積: 76,930m²

○ 社員数 : 計 約3,100人

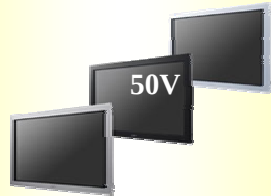
(直雇用約800人、非直雇用約2,300人)

一宮・稲沢テックの主な製品群

一宮テック

稲沢テック

Flat Display/Monitor



PDP Display



LCD Monitor

CRT Monitor



"Q015-KX36"
CRT Monitor



CRT Monitor

Front Projector Rear Projection TV



"Q004-R1"
SXR HD Front Projector



VPL-VW100



LCD Projector



"Q006"
Micro Display SXR TV



GRAND
VEGA

BRAVIA

LCD TV



"KDX-40/46Q005"
TRILUMINOS



40/46V



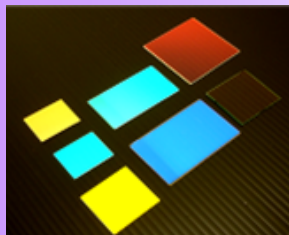
14~40V



32/40V

BRAVIA

... Key Device ...



Optical Filter



UHP Lamp



4P Prism



Optical Engine



Mount Module Unit



LCD Module

化学物質管理について



一宮テック



稲沢テック

化学物質管理 (ソニーグループ方針)

(ソニーグループ方針)

使用する化学物質の確実な管理を行なうと共に、有害な可能性のある物質には継続的な削減、代替に努め、可能となり次第その使用を中止します。

●製品及びサイトで使用する化学物質及びその用途を特定し、それらに関係する当該国・地域の法規制等を把握して、遵守する。

●化学物質及びその用途に関する地球環境への影響を把握して、影響の大きさに応じた管理を行ない、法規制等の適用が無い化学物質についても、環境への影響を低減する施策を行なう。

化学物質管理（一宮テック品質環境方針）

テックプレジデントあいさつ



一宮・稲沢テック
テックプレジデント 森竹 豊

私たちソニーイーエムシーエス（株）一宮テック・稲沢テックは、経営理念のもと「世界最高峰のテレビビジネスモデルの構築」を合言葉に事業を展開しております。それは、お客様の立場に立って考えることが大切です。私たちのつくるソニー製品を買ってくださるのはお客様です。設計する人、製造する人はもちろん、全ての人がお客様を意識し、お客様が認めてくれる価値（顧客価値）を高める事に努力し、カスタマーの皆様が求められる価値を常に創造することが不可欠であると認識しております。私たちはこの価値を単に経済的なものだけでなく、社会への貢献、そして地球環境の保全といくつかの観点で包括的にとらえております。限りある資源を大切に、環境に配慮した商品設計をすることが、これからの商品造りに繋がるのだと思います。近年、地球環境保全に対する関心は、京都議定書の発効や愛・地球博（愛知万博）の開催により益々高まってきています。

2004年度は、「地球の未来と、お客様の期待に応える“商品創り”で、お客様に『満足』をお届けします」の品質・環境スローガンのもと、環境に配慮した商品設計、省資源・省エネルギー対策、廃棄物削減、環境管理物質の削減などの活動を継続してまいりました。

今後も事業を継続していく中で、カスタマーの皆様とコミュニケーションを一層充実させるとともに求められていることは何かを考え、社会や環境に配慮した企業としての存在価値を認めていただけるよう努力していく所存です。本報告書を通じて私どもの考える環境保全活動をご理解していただくとともに、幅広いご意見を頂戴いただければ幸いです。

経営理念

ソニー株式会社の経営理念を継承し、「ソニーのエレクトロニクス・ビジネスの基幹事業所として、世界中のお客様の期待に応える魅力ある商品を提供し続けることを通じ、社員の成長と地域や社会の発展に貢献します」

一宮テック・稲沢テック テックプレジデント

森竹 豊

品質・環境方針

品質・環境スローガン

地球の未来とお客様の期待に応える“商品創り”で、お客様に『満足』をお届けします。

品質・環境方針

私達は、中期ビジョンの実現を目指し、お客様の要求を的確に把握し、タイムリーにその要求を満たした製品の設計・生産・付帯サービスを提供します。又、製品関連及び環境関連の法規制・協定及び「ソニー環境中期目標」を遵守し、地球環境の保全を積極的に推進していきます。

その実現のため、私は、以下の事項をコミットメントします。

1. 顧客及び利害関係者とのコミュニケーションを通じて、これらのニーズ及び期待を把握し、利害関係者の信頼を得ることができる様に技術的・経済的に可能な範囲で、マネジメントシステムを構築します。
2. 製品・環境関連の法規制・協定及び顧客要求事項を満足することの重要性を組織内コミュニケーション、教育・訓練を通じて全社員に認識させ、関連プロセスの運用を確実に行います。
3. 顧客満足及び市場に於ける製品品質の向上及び環境目的の達成を目指し、それらを達成するために各部門・課長に目標を設定させ、活動状況を確認し、必要な経営資源を提供します。
4. 品質・環境マネジメントレビュー会議を定期的に行い、マネジメントシステムの適切性・有効性・変更の必要性の評価及び方針の適切性を確認し、マネジメントシステムを継続的に改善します。
5. 地球環境汚染を防止するため、以下のことに努めます。
 - ・省エネルギー、省資源及び汚染防止を重視した製品の設計・生産を行います。
 - ・省エネルギー及び排出物削減活動を推進します。
 - ・環境汚染物質の廃止・削減及び管理を徹底します。
6. 製品品質・環境保全に対し、常に細心の注意を払い、危機管理を徹底します。

この方針及び環境保全活動の状況は、利害関係者の要求に応じて公表します。

2005年 5月 1日

ソニーイーエムシーエス株式会社 一宮テック／稲沢テック

テックプレジデント

森竹 豊

化学物質管理（目標）

環境管理物質の使用禁止・削減・管理に関する個別目標

一宮テックで使用する環境管理物質の使用禁止、削減、管理を図り、環境負荷低減型生産プロセスの導入に努めるべく、以下の目標を達成する。

項目	目標
環境管理物質の使用 禁止・削減・管理	・クラスⅠ物質は使用禁止 ・クラスⅡ物質は期限を決めて全廃 ・クラスⅢ物質の排出移動量を2010年度末までに売上げ高原単位で、2000年度比90%以上削減する。 ・クラスⅣ物質については、関連法規を遵守するとともに、十分な管理のもとに使用する。
環境事故防止と対応	「環境リスクマネジメント標準」に則った施策のハード対応および事故の未然防止に努める。

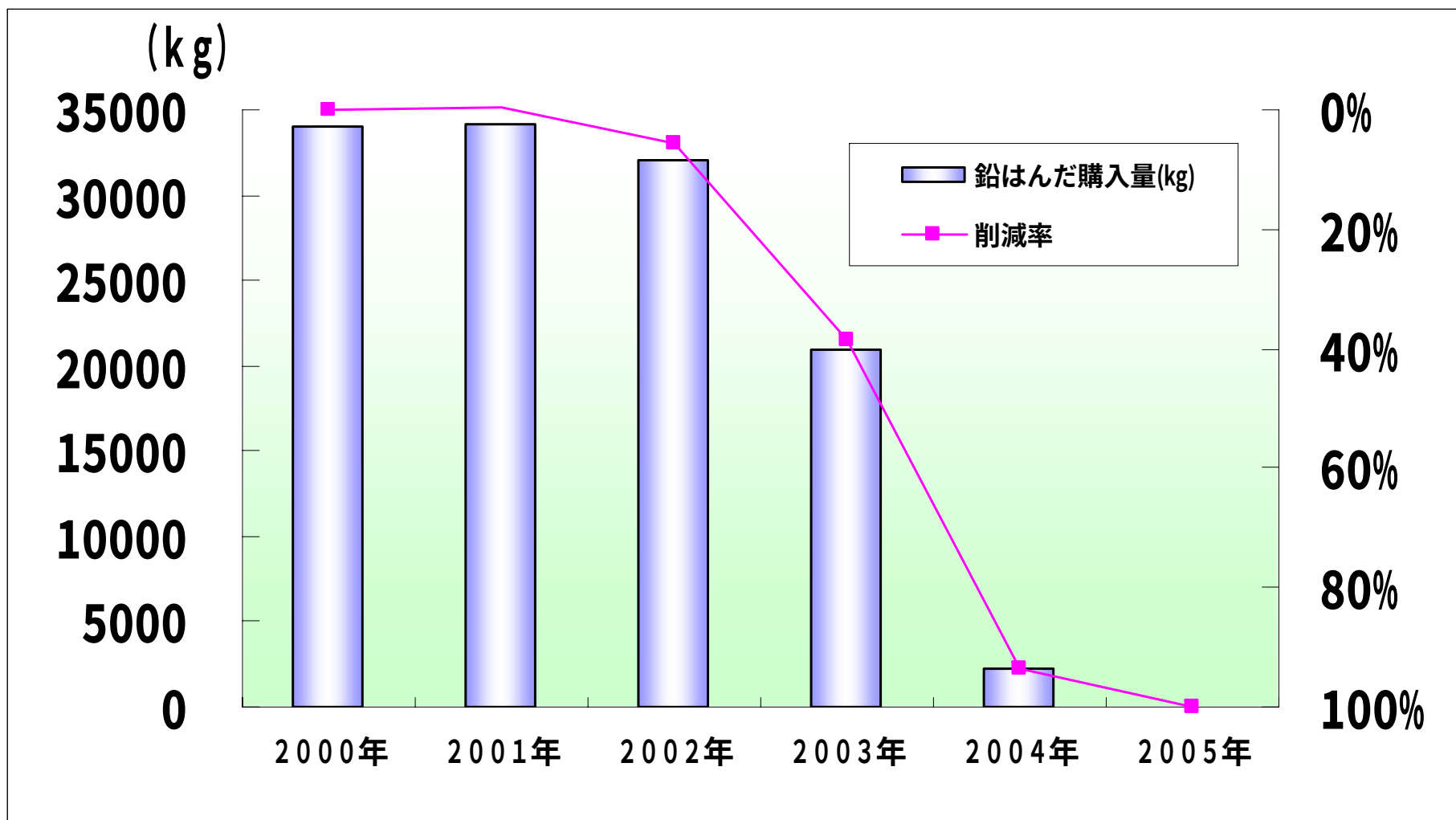
化学物質管理 (計画)

計画

化学物質	鉛 (はんだ含有)	銀 (無鉛はんだ含有)
目標	製品への鉛の使用を 禁止する	—
目標達成時期	平成17年12月末	—
対策	鉛を含まないはんだ への切り替え	使用量を把握し管理

化学物質管理 (鉛はんだ削減)

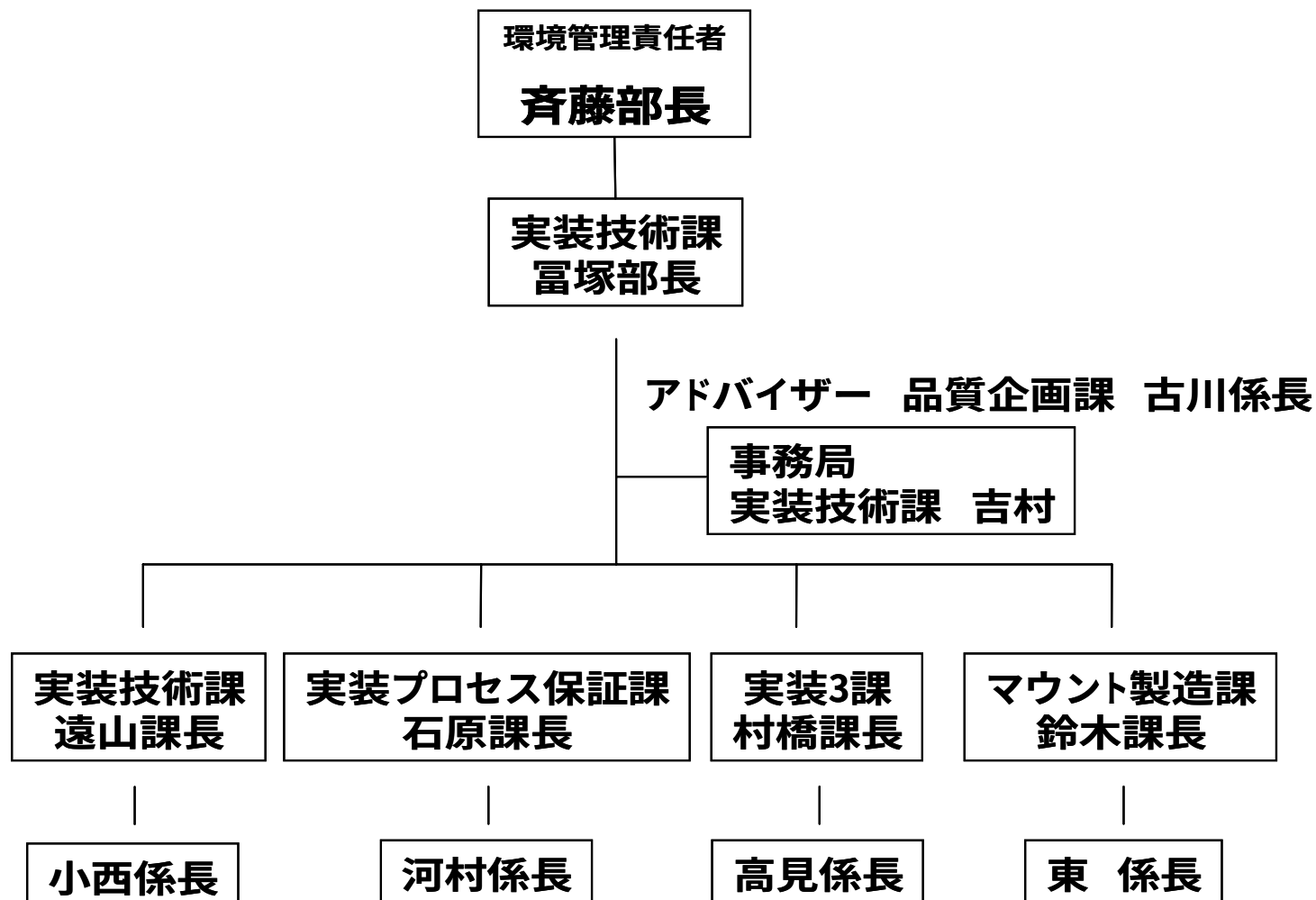
進捗状況



化学物質管理 (組織)

(1) 管理組織

環境管理物質削減組織 (2005.6.1付)

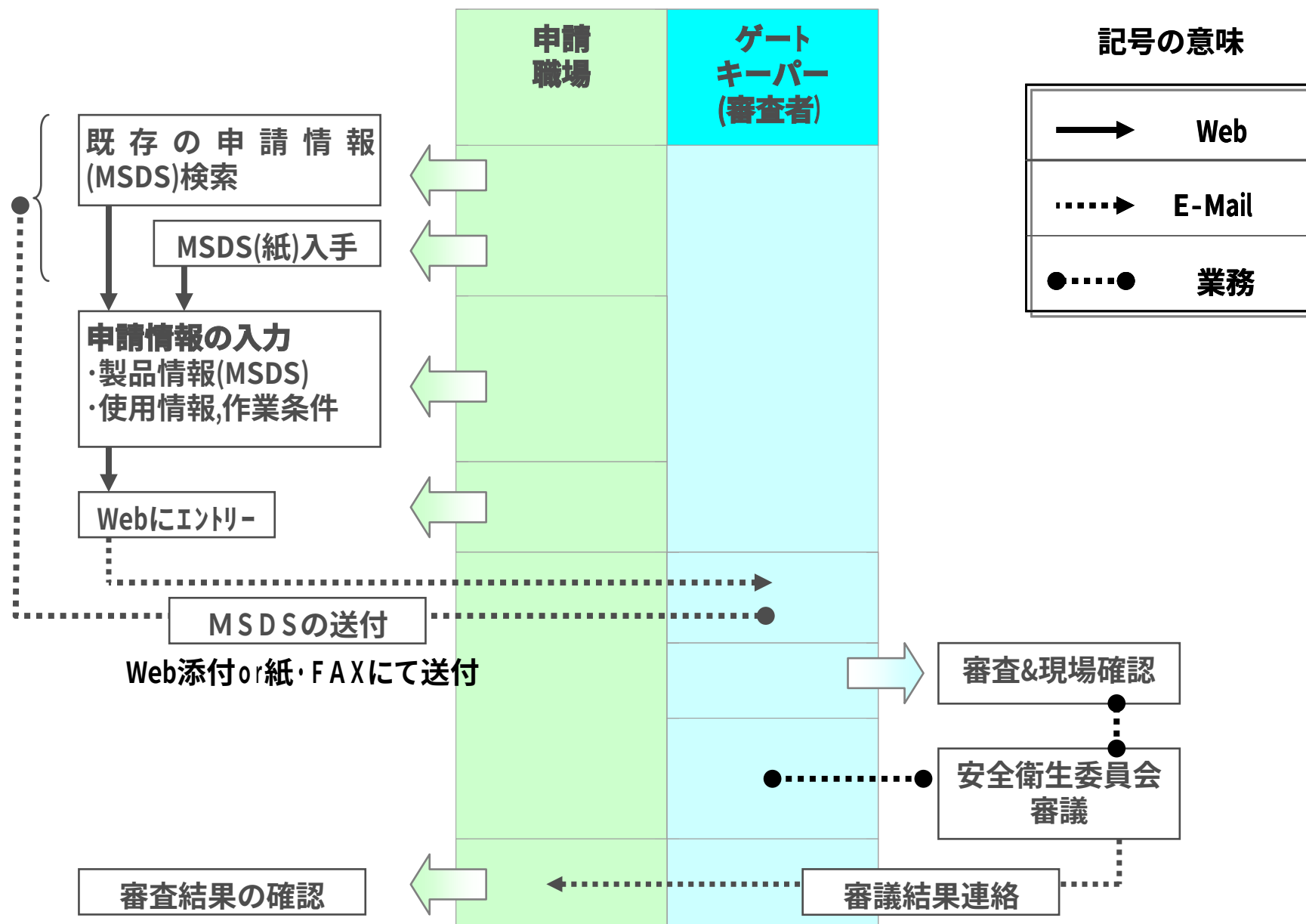


化学物質管理

一宮テックでは、2003年2月よりソニー本社が開発した「**ケミカルマネージャ**」というWebシステムを採用しました。これまで新規化学物質は、紙による申請・審査を実施していましたが、この「**ケミカルマネージャ**」は、申請者がWebで必要事項を入力し申請すると専門教育を受けた審査者「ゲートキーパー」に、その情報が送信されます。「ゲートキーパー」は、Web上で審査を行い、その物質に見合った対策事項を提示し使用許可を出していくシステムになっています。

この「**ケミカルマネージャ**」は、審査時間を短縮するとともに、化学物質のデータベース化を図ることができ、紙資源の節約にもつながります。また、この「**ケミカルマネージャ**」の情報は、環境事務局にも送信され、その物資の環境影響評価も同時に進めることができます。

化学物質管理 (申請登録)



リスクコミュニケーション



一宮テック



稲沢テック

リスクコミュニケーション

リスクコミュニケーションの実施状況

■2004年10月13日 (主催:愛知県、ソニーイーエムシーエス(株)一宮テック)

地域リスクコミュニケーション

(工場見学、会社概要・化学物質管理の説明、懇談会)

一宮市民11名、行政(愛知県、一宮市)参加

■2005年6月9日 (主催:ソニーイーエムシーエス(株)一宮テック)

地域リスクコミュニケーション

(工場見学、会社概要・化学物質管理の説明、懇談会)

高田町内会 町内会長様含め10名参加

リスクコミュニケーション

■2004年10月13日
一宮テックにて開催

化学物質適正管理
排出抑制へ懇談会
ソニー一宮で
住民や行政関係者
化学物質を扱う企業が
排出量などの情報を公開
し、安全面について住
民、行政と意見交換し互
いに理解を深める「化学
物質の適正管理に関する
地域懇談会（リスクコミ
ュニケーション）」が十
三日、一宮市高田のソニ
ーエムシーエス一宮
テックで開かれた。

化学物質排出把握管理
促進法（PRT法）が
一九九九年に制定され、
情報公開が義務付けられ
たことを受けて、懇談会
を通じて適正管理や排出
抑制につなげようと、県
とソニー一宮が県内で初
めて開いた。

懇談会には地元の一宮市
会長や市内の県地域環境
保全委員ら住民十一人、
県尾張事務所、一宮市の
担当職員、ソニー一宮の
社員が出席した。

社員から具体的な数字
に基づいた化学物質の管
理状況について説明があ
り、続いて液晶テレビを
生産する工場内を見学。
意見交換では、工場から
排出された廃棄物の処理
法や、従業員に対する環
境学習の実施の有無など

についての質問があり、
活発に話し合った。

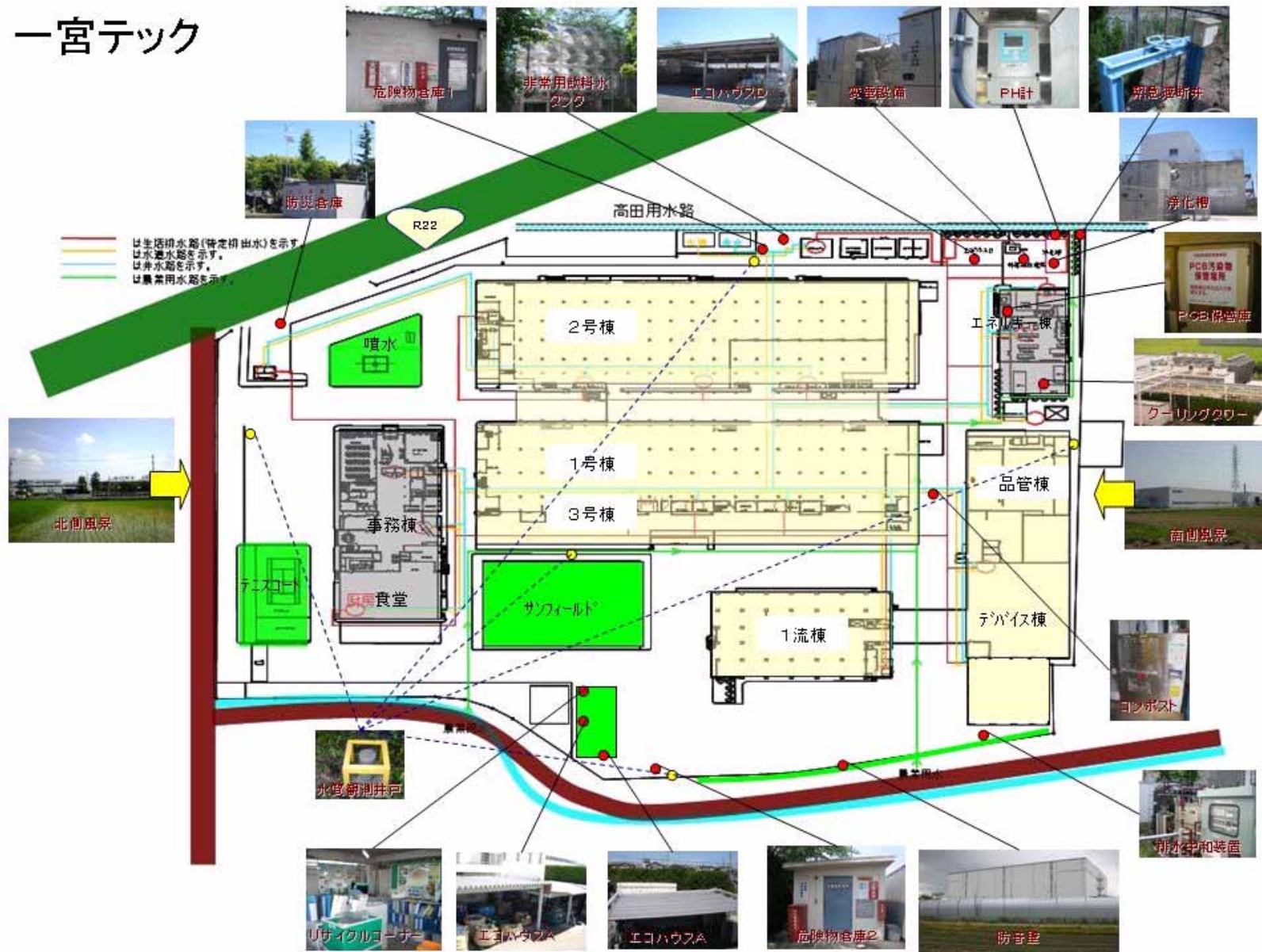
飯野さんら表彰
薬事関係団体に
尽力で県が18日

医薬品や薬剤師の役割
についての正しい知識を
広める「薬と健康の週



リスクコミュニケーション (リスクマップ)

一宮テック



リスクコミュニケーション (監視測定)

■リスク管理の事例

・観測井戸による土壌汚染監視

一宮テックでは、過去に使用していた化学物質による土壌汚染が無いかわ工場敷地内5箇所で観測井戸による監視を行なっています。



2004年度 土壌汚染物質濃度測定結果



採水日2004年7月13日

	観測井戸 (mg/L)					
	基準値	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5
1,1,1-トリクロロエタン	1以下	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
トリクロロエチレン	0.03以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
テトラクロロエチレン	0.01以下	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
判定		適・否	適・否	適・否	適・否	適・否

その他コミュニケーション活動

- 工場見学
(小学校の社会見学受入)
- 社会環境報告書発行
(2000年より毎年発行)
- サマーフェスティバル
(1回／年)
- 地域清掃
(2回／年)
- ソニーフェスタでの環境活動紹介
(2回／年)



ご清聴ありがとうございました



BRAVIA

Best Resolution Audio Visual Integrated Architecture

ソニーイーエムシーエス(株)一宮テック
環境事務局